

東海バイオコミュニティの概要

- ✓ 東海地域の産学官の関係者が、地域に賦存する生物資源の活用におけるイノベーション創出に向け、テーマ毎に「社会実装プラットフォーム」を設置して目標を定め、研究開発から社会実装までの諸活動を一体的に実施。
- ✓ コミュニティの中心となって積極的な調整活動を行うネットワーク機関（法人）を設立し、プラットフォームの設置やプラットフォーム内の諸活動を強力に支援。東海機構等が、資金的・人的資源の提供や助言により当該法人の活動を支援。

東海地域のバイオエコノミーの拡大、みどりの食料システム戦略が掲げる目標への貢献

2030年目標（マイルストーン）：主要な農作物の市場規模を40%拡大、木材の市場規模を50%拡大、年間20万トンのバイオマスプラスチックを生産、CO₂の年間固定量を50%増加、藻類・貝類の市場規模を40%拡大



【取組の具体化又は設立に向けて調整中のPF】

森林ビジネスPF

林業・木材産業の成長産業化とCO₂固定・排出削減を両立させる地域モデルの構築

バイオマスプラスチックPF

未利用木質バイオマスを原料とするバイオマスプラスチック関連産業の地域モデルの構築

無給餌養殖PF

研究開発拠点の形成と無給餌養殖関連産業の活性化

作物市場創成PF

地域作物の国内外における新規市場の創成

スマート農業PF

スマート農業技術の地域における戦略的導入

東海バイオコミュニティ

【支援組織（拡充予定）】

東海機構
(名古屋大学、岐阜大学)

愛知県

岐阜県

三重大学

三重県

静岡大学

農林中央金庫

東海農政局

支援

【ネットワーク機関】

- プロデューサー、コーディネーターの安定的な活動基盤を提供
- 社会実装プラットフォーム（PF）の設立に向けた調整
- PFの活動支援（各種プロジェクトの企画立案・進行管理、資金獲得支援、情報収集・分析等）
- 新法人を立ち上げ、徐々に体制を強化することとしており、東海国立機構内に設立準備室を設置

支援

【社会実装プラットフォーム（PF）】

- テーマ毎に設立（順次追加）
- 産学官の主要なプレーヤーが結集
- 課題と目標を共有し、達成に向けた最適な体制を構築
- 研究開発、現場実証、市場調査等のプロジェクトを立案・実施
- プロジェクト間の密接な連携を確保

理念の共有

産業界や研究機関の人材・知見・ノウハウ・技術の戦略的かつ丁寧な繋ぎ、バックキャストアプローチの徹底、異分野融合の重視、出口までの道筋の明確化と早期対応など